

7

産業革命とヨーロッパのアジア進出

テーマ

- ① 産業革命の展開と資本主義の発達について理解しよう。
② 19世紀欧米諸国の発展とアジア貿易・アジア進出の過程について理解しよう。

1 産業革命と資本主義

- (1) 産業革命…18世紀のイギリスの綿工業部門で、紡績機(綿糸をつむぐ機械)や織機などの発明や技術革新が続き、石炭を燃料とする蒸気機関が実用化された(のちにワットが改良)。新しい技術や動力は機械工業や製鉄業にも導入され、さらに交通手段の発達をうながし、社会や生活のようすが大きく変化した。

- ① 「世界の工場」…最初に産業革命を達成し、工場で大量生産を行い、製品を各国に輸出したイギリスは、19世紀半ばには「世界の工場」とよばれた。

- ② 産業革命の拡大…19世紀になると、フランスやアメリカ、ドイツなどでも産業革命がおこった。

- ③ 輸送能力の向上…蒸気機関を動力にした、蒸気機関車や蒸気船[汽船]の発明によって、より多くの人間や貨物を短時間で運ぶことができるようになった。また、新しい交通手段によって、アジアやアフリカなどの地域との往来が容易になり、アジアやアフリカへの進出を加速させた。

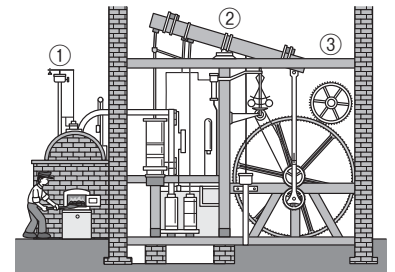
- (2) 資本主義…産業革命により、資本家(生産のもとでを持つ者)が労働者を雇って生産を行い、利益を得ることをめざす資本主義経済のしくみが確立した。

- ① 海外進出…ヨーロッパの資本主義国は、原料供給地と商品市場を求め、アジアやアフリカ、ラテンアメリカなどに進出して植民地を増やした。インドなど植民地にされた地域では、ヨーロッパから安い製品が大量に流入したために現地の伝統的な産業がおとろえることがしばしば見られた。

- ② 社会問題…資本主義の発達は、同時に、長時間労働や労働災害、公衆衛生の悪化、環境汚染などの社会問題をもたらした。生活を守るために、労働者たちは労働組合を結成し、労働条件の改善や労働者を守る法律の制定を要求した。

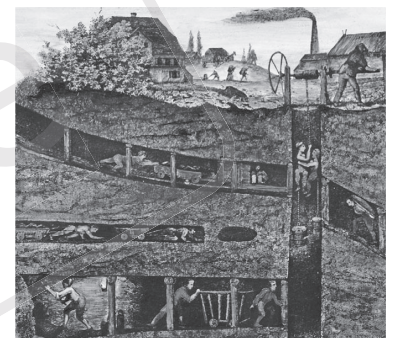
- (3) 社会主義…資本主義を批判し、労働者の団結と生産手段の共有によって、理想の共同体の建設をめざそうとする、社会主義の思想がめばえた。ドイツのマルクスは『資本論』をあらわして、社会主義の実現を説いた。

▼蒸気機関



- ① 石炭を燃やして水蒸気をおこす ② 蒸気のでピストンが上下に動く ③ ピストンに合わせて歯車が回転する

▼炭坑で働く子ども(イギリス)



産業革命期のイギリスでは、女性や子どもも炭坑や工場に雇われ、過酷で劣悪な労働条件のもとで働かされた。

確認問題

- 1 産業革命と資本主義 次の()にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 18世紀のイギリスでは、発明や技術革新が相次ぎ、工場で機械を使った大量生産が行われ、社会や生活のようすが大きく変化する()がおこった。
□(2) (1)の要因の1つとして、石炭を燃料とする()が実用化されたことがあげられる。
□(3) (1)がおこると、資本家が労働者を雇い、利益を得るために生産を行う()経済のしくみが確立した。
□(4) (3)経済の発達によって社会問題がおこると、労働者は自分たちの生活を守るために()を結成して、労働者のための法律の制定などを要求した。
□(5) (3)を批判し、労働者が団結して生産手段を共有することによって、理想の共同体の建設をめざす考えを()という。

- (1) _____
(2) _____
(3) _____
(4) _____
(5) _____

2 19世紀の欧米諸国とアジア貿易

- (1) 欧米諸国の発展…18世紀から19世紀にかけて、欧米諸国は産業革命と資本主義経済の進展によって、それぞれ国力を高めた。その中でも、経済力や軍事力がとくに強かった国々は列強とよばれた。
- ① イギリス…世界経済の中心となり、最初の万国博覧会を開いた。労働者たちが選挙権を求めるチャーチスト運動がおり、男性労働者などに選挙権があたえられたことで、政党政治が発達した。
- ② フランス…ナポレオンの退位後は王政にもどったが、1848年に革命がおこって再び共和政になると、成年男子の普通選挙制が成立した。その後は再び帝政が行われ、さらに共和政になるなど、政治体制が大きく変化した。
- ③ ドイツ…多くの国々に分裂した状態が長く続いていたが、プロイセンのビスマルク首相が「鉄血政策」とよばれる富国強兵策を進め、フランスなどとの戦争に勝利してドイツを統一し、1871年にドイツ帝国が成立した。
- ④ アメリカ…ヨーロッパからの移民を受け入れて農工業が発展したが、貿易政策や奴隷制(アフリカの黒人を強制的に連れてきて綿花農場などで働かせる制度)をめぐる、北部と南部が対立・分裂し、1861年、南北戦争がおこった。この戦争の間に、北部のリンカン大統領が奴隷解放宣言を出した。南北戦争が北部の勝利で終わると、資本主義が急速に発達し、大西洋岸から太平洋岸にいたる大陸横断鉄道が建設された。
- ▼演説をするリンカン
- 
- 南北戦争中に行われた演説で、リンカンは「人民の、人民による、人民のための政治」をうたった。
- ⑤ ロシア…皇帝の専制政治が行われ、18世紀前半のピョートル1世以降、領土の拡大が続いた。19世紀に入ると積極的な南下政策をとり、黒海に進出しようとして、イギリスやフランスとの間でクリミア戦争をおこした。このときに戦場医療にあたったナイチンゲール(イギリス)は近代看護や医療衛生の確立に貢献した。クリミア戦争に敗れたロシアは中国東北部への進出をねらってシベリア鉄道を建設した。
- ▼三角貿易
- 
- (2) イギリスのアジア貿易…19世紀前半まで、中国(清)は欧米との貿易を廣州1港に限っていた。茶を飲む習慣が広まっていたイギリスは、清から大量の茶を輸入したが、一方で綿織物などの自国の工業製品があまり売れなかったため、大幅な赤字におちいった。そこで、イギリスは植民地化を進めていたインドのアヘン(麻薬)を清に売りこむ三角貿易を行って、利益を増やした。
- (3) アヘン戦争…銀の流出と、アヘンの中毒者の急増を重く見た清が、アヘンをきびしく取りしめると、イギリスはこれを口実にして、1840年に清との戦争をおこした。1842年、近代的な軍備を持つイギリス軍の勝利で戦争が終わり、敗れた清は南京条約を結んで、香港の割譲・賠償金の支払い・上海など5港の開港を行った。さらに翌年、領事裁判権(罪を犯した外国人はその本国の領事が裁判する権利)を認め、関税自主権(輸入品にかかる税率を決定する権利)がない不平等条約を結ばされ、フランスやアメリカとも同じような内容の条約を結んだ。

確認問題

2 19世紀の欧米諸国とアジア貿易 次の()にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) ドイツでは、プロイセンの(①)首相が「鉄血政策」により統一を進め、フランスなどとの戦争を経て、1871年に(②)が成立した。
- (2) アメリカでは、1861年に貿易政策や奴隷制をめぐる国内の対立から、()とよばれる内戦が始まった。
- (3) (2)の間に、()大統領は奴隷解放宣言を出した。
- (4) 1840年、イギリスと清との間で()戦争がおこった。
- (5) (4)戦争に敗れた清は、1842年に()条約を結び、香港をイギリスにゆずるとともに、上海などの5港を開いた。

(1)①

②

(2)

(3)

(4)

(5)

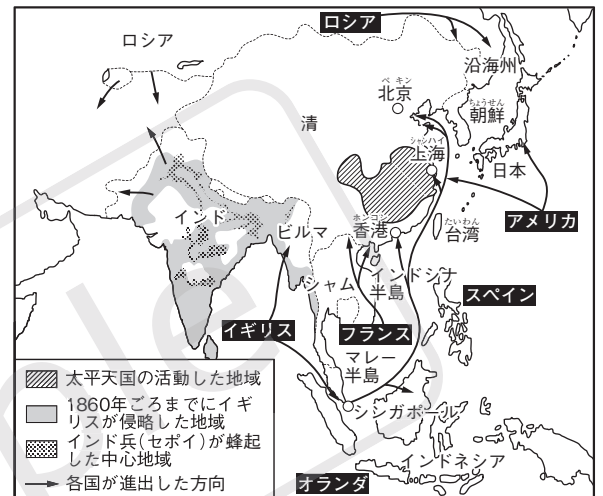
3 ヨーロッパ諸国のアジア進出

- (1) 日本への進出…18世紀末、松平定信が老中のときに、ロシアの使節ラクスマンが蝦夷地の根室に來航し、漂流民(大黒屋光太夫)を送り届けるとともに通商を求めた。幕府は慎重に議論して、通信関係(国交を結び交易を行う関係)をもつ朝鮮・琉球、通商関係をもつオランダ・中国(清)以外の国とは交渉しないことが、国の決まりであるとして、ロシア使節に対して通商を拒絶した。ロシアの接近を警戒した幕府は、間宮林蔵らに蝦夷地や樺太の探検を命じた。19世紀に入ると、イギリスやアメリカなどの外国船がしきりに日本の沿岸に近づくようになり、イギリスのフェートン号が長崎で事件を起こしたり、ロシアの使節レザノフが長崎に通商を求めて來航するなどした。この動きを警戒した幕府は、1825年に異国船打払令を出し、沿岸の防備をかためた。異国船打払令により、漂流民を送り届けようとしたアメリカの商船が追い払われるモリソン号事件がおこると、蘭学者の渡辺華山と高野長英が幕府の対応を批判する書物を書いた。そのため、この2人は幕府によってきびしく処罰された(蛮社の獄)。その後、水野忠邦が老中のときに、アヘン戦争の結果を知った幕府は警戒を深めるとともに、異国船打払令をゆるめて、外国船に食料や燃料などをあたえて退去させる方針に切りかえた。

▼外国船の接近



▼19世紀中ごろのアジア



- (2) 太平天国の乱…清がアヘン戦争の戦費や賠償金をまかなうために税を重くしたことが原因になって、1851年、貧しい農民たちは洪秀全を中心に太平天国の乱を起こした。洪秀全は、満州族の清をたおして太平天国を建て、土地を平等に分けて貧富の差をなくす政策を行おうとしたが、地主の義勇軍や外国の力を借りた清によって平定された。太平天国の乱で清が動揺すると、イギリスとフランスは戦争をしかけて、清にいったいその貿易自由化やキリスト教の布教などを認めさせた。
- (3) インド大反乱…イギリスによる植民地化が進んだインドでは、イギリスの安い綿製品が流入して、伝統的な手工業がおとろえた。そのためにイギリスに対するインドの人々の反感が高まり、1857年、イギリスの東インド会社に雇われていたインド人兵士の蜂起をきっかけに、インド大反乱がおこった。この大反乱は2年がかりで鎮圧され、さらにムガル帝国もほろぼされた。乱後、イギリスはインドを完全に植民地化した。イギリスは東インド会社を解散し、インド全土を直接支配して、イギリス国王がインド皇帝を兼ねた。また、東南アジアでは、タイ[シヤム]をのぞくほぼ全域がイギリス・フランス・オランダ・スペインによって植民地化された。

3 ヨーロッパ諸国のアジア進出 次の()にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 幕府が異国船打払令を出して、漂流民を乗せたアメリカの商船を追いついた事件を批判したため、蘭学者の()と高野長英はきびしい処罰を受けた。
- (2) 1851年、洪秀全を中心とする貧しい農民たちが、中国南部に()を建国し、土地を平等に分けて貧富の差をなくす政策を行おうとした。
- (3) 1857年、イギリスの東インド会社に雇われていたインド人兵士の蜂起をきっかけにして、()がおこり、イギリスは2年がかりでこれを鎮圧した。
- (4) (3)を2年がかりで鎮圧したイギリスは、ムガル帝国もほろぼし、東インド会社を解散したうえで、インド全土を完全に()化した。
- (5) 東南アジアの植民地化が進行するなか、()は独立を保った。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

基本問題

1 産業革命と資本主義 次の問いに答えなさい。

- (1) 18世紀に、世界にさきがけて産業革命を達成し、19世紀には「世界の工場」とよばれた国の名を書け。
- (2) 産業革命と資本主義についてのべた次のア～エのうち、内容が正しいものを1つ選び、記号で答えよ。
- ア 産業革命では、紡績機や織機などの発明や技術革新が行われ、石油を燃料とする蒸気機関が実用化されたことによって、社会や生活のようすが大きく変わった。
- イ 産業革命は1つの国にとどまらず、ヨーロッパ各国で進んだ。
- ウ 資本主義経済が発達すると、ヨーロッパ諸国は原料供給地と商品市場を求めて、アジアやアフリカに進出し、現地の伝統的な産業を育てて利益を得た。
- エ 資本主義経済が発達すると、ものが豊かになって生活が便利になったため、労働者は待遇に満足していた。
- (3) 産業革命で生まれた資本主義を批判し、労働者の団結と生産手段の共有によって、理想の共同体の建設をめざそうとする考えを何というか。

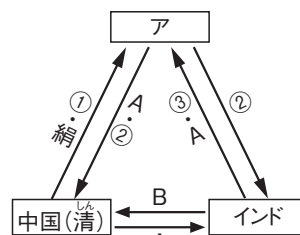
1

(1)	
(2)	
(3)	

2 19世紀の欧米諸国とアジア貿易 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

2

- (1) 次の①～④にあてはまる国を、地図中のア～カから1つずつ選び、記号で答えよ。
- ① 「鉄血政策」によって富国強兵を進めたプロイセンが、19世紀後半に帝国を成立させた。
- ② 世界経済の中心として栄え、二大政党制が確立した。
- ③ 19世紀中ごろ、貿易政策と奴隷制をめぐる国内の対立から、南北戦争がおこった。
- ④ 皇帝の専制政治のもと、近代化のために農奴が解放され、沿海州や東アジアへ進出するために、シベリア鉄道が建設された。
- (2) 右の図は、地図中のアがアジアで行った三角貿易を示している。図中の①～③にあてはまるものを、次のア～オから1つずつ選び、記号で答えよ。
- ア 茶 イ 石炭 ウ ガラス
エ 綿織物 オ 綿花
- (3) 図中のA・Bにあてはまる語句をそれぞれ書け。



(1)	①	
	②	
	③	
	④	
(2)	①	
	②	
	③	
(3)	A	
	B	

3 ヨーロッパ諸国のアジア進出 次の問いに答えなさい。

3

- (1) 18世紀末に、根室に來航し、通商を求めたロシア使節はだれか。
- (2) 江戸幕府が間宮林蔵に探検を命じたのは蝦夷地とどこか。
- (3) アヘン戦争の条約が結ばれた後、清が課した重税などに苦しむ貧しい農民たちが立ち上がり、中国南部に国を建てた。この国を何というか。
- (4) (3)のころイギリスに滅ぼされた帝国を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア アステカ帝国 イ インカ帝国 ウ ムガル帝国 エ オスマン帝国

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

演習問題

1 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。

→1・2

(1) Aについて、次の①・②に答えよ。

□① これらのできごとをきっかけに始まった、社会や生活の変化を何というか。 []

□② これらのできごとによって工業力を高めたイギリスは、19世紀には何とよばれたか。 []

(2) Bについて、イギリスは清との貿易の拡大を望んでいた。このことについて、次の①・②に答えよ。

□① **記述** このころの清は、貿易をどのように行っていたか。簡単に説明せよ。

[]

□② 清との貿易で大幅な赤字におちいったイギリスが、清に輸出したインドの産物は何か。 []

(3) Cについて、次の①・②に答えよ。

□① この戦争中に「人民の、人民による、人民のための政治」をうったえた、右の資料の人物名を書け。 []

□② この戦争がおこった原因の1つであり、①の人物がその廃止につながる宣言を発表した制度名を書け。 []

(4) Dについて、次の①・②に答えよ。

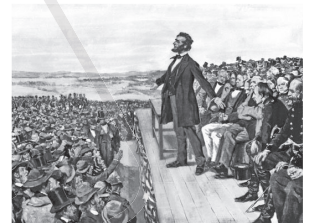
□① 『資本論』の著者で、社会主義の思想を説いた人物名を書け。 []

□② **記述** 『資本論』は資本主義経済を批判するために書かれた。この資本主義経済について、次の語句を用いて、簡単に説明せよ。 資本家 労働者 利益

[]

□(5) Eについて、プロイセンの首相として「鉄血政策」を行い、数々の戦争に勝ってドイツの統一を実現した人物名を書け。 []

年代	できごと
1733	飛び杼手織機が發明される
1769	ワットが蒸気機関を改良する 水力紡績機が發明される
1816	イギリスが清に使節を送る……B
1861	南北戦争が始まる……C
1867	『資本論』の出版が始まる……D
1871	ドイツ帝国が成立する……E



2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

→2・3

□(1) 次のア～エは、17世紀から19世紀にかけて地図中Aとイギリスの間で起こったできごとを示したものである。内容の古いものから順に記号を並べよ。〈三重〉 [→ → →]

ア 産業革命後、イギリスは大量の綿織物をAへ輸出した。

イ Aの綿織物業が衰退し、イギリスへの不満が高まりA大反乱が起こった。

ウ イギリスは東A会社をつくり、Aから大量の綿織物を輸入した。

エ イギリス政府がA全土を直接支配するようになった。

□(2) イギリスが地図中のA・Bを結んで行った貿易を原因とする戦争を何というか。 []

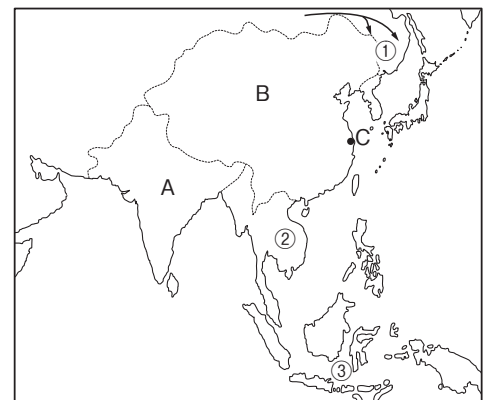
□(3) (2)の情報を知った江戸幕府は、それまでの方針を転換して、何という法令をゆるめたか。 []

□(4) (2)に敗れたBの国が開港した、地図中のCの都市名を書け。 []

□(5) 地図中の①～③の地域に進出した国を、次のア～カから1つずつ選び、記号で答えよ。

① [] ② [] ③ []

ア フランス イ アメリカ ウ オランダ エ ドイツ オ ロシア カ スペイン



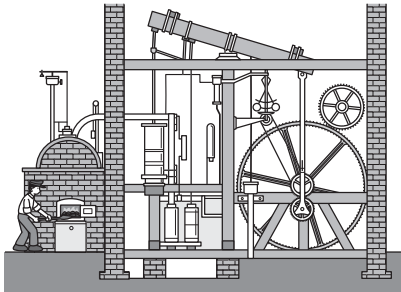
学習のまとめ

年表に
まとめよう！ 1 産業革命とヨーロッパのアジア進出について学習した内容を、次の年表の[]に語句や数字をあてはめて再確認しよう！

時代	年代	おもなできごと	中国	朝鮮
江戸時代	1769年	イギリスのワットが[①]を改良し、実用化する	清	朝鮮
	1819年	蒸気船による大西洋横断が成功する		
	1825年	イギリスで蒸気機関車を用いた鉄道が開通する		
		イギリスやアメリカなどの外国船を追い払うために、[②]が出る		
	1832年	イギリスで最初の選挙法改正が行われる		
	[③]年	イギリスと清との間で、[④]がおこる		
	1842年	アヘン戦争が終わり、イギリスと清が[⑤]条約を結ぶ		
	1843年	清がイギリスと不平等条約を結ぶ		
	1851年	清で、洪秀全を中心とする[⑥]の乱がおこる		
	1857年	イギリスの支配を不満として[⑦]大反乱がおこる(～59年)		
明治時代	1861年	ロシアが近代化のために農奴を解放する	朝鮮	
		アメリカが貿易政策や奴隷制をめぐる[⑧]戦争とよばれる内戦がおこる		
	1863年	アメリカの北部の[⑨]大統領が奴隷解放宣言を出す		
	1867年	[⑩]が『資本論』の出版を通じて、社会主義の実現を説く		
	1869年	アメリカで最初の[⑪]鉄道が開通する		
	[⑫]年	プロイセンがドイツ統一を実現し、[⑬]が成立する		
	1877年	[⑭]国王がインド皇帝を兼ねる		
	1891年	ロシアが、中国東北部への進出のために、[⑮]の建設を始める		

資料を
覚えよう！ 2 次の資料を見て、あとの問いに答えよう。

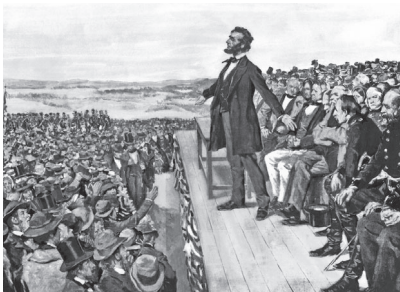
□(1)



産業革命で実用化された、石炭を燃料とする機械で、工場や交通の動力として活用されたものは何か。

[]

□(2)



「人民の、人民による、人民のための政治」をうったえたり、奴隷解放宣言を出したりした、アメリカの大統領はだれか。

[]

□(3)



アヘン戦争で、(1)を取りつめた軍艦を用いて、相手国の帆船を攻撃するなどして、勝利した国はどこか。

[]